



## 災害への備え

災害の発生を防ぐことはできなくても、適切な準備を行うことで被害を軽減することができます。どんな備えが必要か考えておきましょう。

### <確認しておく事項>

- 避難場所 (自宅周辺、通学途中、大学周辺など)
- 帰宅ルートおよび所要時間 (徒歩約2.5km/hを目安)
- 具体的な情報収集手段
- 家族との連絡方法および待ち合わせ場所
- 災害用伝言サービスの事前登録
- 大学および友人等への連絡方法

### <準備しておくもの>

- 非常時の持ち出し品・備蓄品
  - ・右のチェックリストを参考に、自分や家族の状況に応じて必要なものを選びましょう。
  - ・両手を使えるリュックタイプのバッグなどにまとめておきましょう。
  - ・避難の妨げにならないよう、軽くコンパクトにまとめましょう。
  - ・定期的に中身をチェックしましょう。
- 緊急時パーソナルメモ
  - ・ご自身の氏名・連絡先・持病などを記入しておきましょう。



## 非常時の持ち出し品・備蓄品チェックリスト

- |   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| <b>貴重品</b>                                  | <b>便利品など</b>                          |
| <input type="checkbox"/> 現金 (小銭を含む)         | <input type="checkbox"/> 防災ずきんかヘルメット  |
| <input type="checkbox"/> 家や車の鍵              | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 (予備電池も) |
| <input type="checkbox"/> 眼鏡、コンタクトレンズ        | <input type="checkbox"/> 笛やブザー        |
| <input type="checkbox"/> 銀行口座番号             | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ      |
| <input type="checkbox"/> 生命保険契約番号           | <b>清潔・健康のためのもの</b>                    |
| <input type="checkbox"/> マイナンバーカード          | <input type="checkbox"/> マスク          |
| <input type="checkbox"/> 学生証                | <input type="checkbox"/> ビニール袋        |
| <input type="checkbox"/> 運転免許証・パスポート        | <input type="checkbox"/> アルミ製保温シート    |
| <input type="checkbox"/> 印鑑                 | <input type="checkbox"/> 毛布           |
| <input type="checkbox"/> 母子健康手帳             | <input type="checkbox"/> スリッパ         |
| <b>情報収集用品</b>                               | <input type="checkbox"/> 軍手か皮手袋       |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話 (充電器含む)       | <input type="checkbox"/> マッチライター      |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ (予備電池も)      | <input type="checkbox"/> 給水袋          |
| <input type="checkbox"/> 家族の写真 (はぐれた時の確認用)  | <input type="checkbox"/> 雨具           |
| <input type="checkbox"/> 緊急時の家族、親戚、知人の連絡先   | <input type="checkbox"/> レジャーシート      |
| <input type="checkbox"/> 広域避難地図 (ポケット地図でも可) | <input type="checkbox"/> 簡易トイレ        |
| <input type="checkbox"/> 筆記用具               | <input type="checkbox"/> トイレットペーパー    |
| <b>食料など</b>                                 | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ    |
| <input type="checkbox"/> 非常食                | <input type="checkbox"/> 救急セット        |
| <input type="checkbox"/> 飲料水                | <input type="checkbox"/> 常備薬・持病薬      |
|   | <input type="checkbox"/> 包帯           |
|   | <input type="checkbox"/> 着替えの衣類       |
|   | <input type="checkbox"/> タオル          |
|   | <input type="checkbox"/> 生理用品         |



## 大学構内での緊急連絡

### 大学構内で負傷者を発見した場合

1. まず、自分の身の安全を確保する。
2. すぐにキャンパス内の**緊急連絡先**に連絡する。
3. 周囲の協力を得ながら、可能な範囲で応急手当を行う。

### 大学構内で火災を見つけた場合

1. 「火事だ!」と大声で周囲に知らせる。
2. 安全が確保できる範囲で、周囲の協力を得ながら初期消火を試みる。
3. 消火が困難な場合は、すぐにその場から離れる。
4. 近くの出火報知機のボタンを押す。
5. 火元から離れ、建物の外へ避難する。
  - ※ エレベーターは使用せず、必ず階段を利用する。
6. キャンパス内の**緊急連絡先**へ通報する。

### 緊急連絡先

- 戸畑キャンパス (西門守衛所) 093-884-3033
- 飯塚キャンパス (警備員室) 0948-29-7516
- 若松キャンパス (警備員室) 093-695-6018
- ※ 原則として、119番通報は教職員または警備員が行います。

### 緊急連絡時に伝えるべき内容

- ①件名 (火事 or 救急)
- ②場所 (建物名や近くの目印)
- ③状況 (何が or 誰がどうしたのか)
- ④状態 (燃えているもの or 怪我の状態)
- ⑤自分の名前・連絡先
- ※自分からは電話を切らずに相手の指示を待つこと



国立大学法人  
九州工業大学



もしもの時にあなたの身を守る

## 災害対応 ポケットガイド

SAFETY GUIDE

本ポケットガイドは、本学ホームページからも閲覧可能です。

[https://www.kyutech.ac.jp/campuslife/jishin\\_manual.html](https://www.kyutech.ac.jp/campuslife/jishin_manual.html)

ただし、災害時には携帯電話の充電が切れてしまう場合がありますので、本紙も財布などに入れて常時携帯してください。

※この用紙は耐久性、防水性のあるストーンペーパーを使用しています。記入は油性のペンを使用してください。



2025年3月発行



## 家族との安否確認

### NTT災害用伝言ダイヤル (171)

地震など大災害発生時に、安否確認などの電話が爆発的に増加し、つながりにくい状況になった場合、提供されるサービスです。

### インターネットで確認 NTT災害用伝言板

<https://www.web171.jp>  
(web171)へアクセス

伝言の登録      伝言の確認・再生

### 電話で確認 NTT災害用伝言ダイヤル

電話で確認 **171** をダイヤル

録音 **1**      再生 **2**

暗証番号を利用する録音 **3**      暗証番号を利用する再生 **4**

被災地の方の電話番号を入力

伝言の録音 (30秒以内) **1** \*      伝言の再生 **1** \*

\*ダイヤル式携帯電話の方は操作不要です。

事前の登録が必要です! (事前にテストをして下さい)

### 携帯各社の災害用伝言板サービス

大規模災害時に携帯電話から安否確認 (安否情報の登録) ができる災害用伝言板サービスです。

あらかじめ指定したご家族や知人に対して、災害用伝言板に登録されたことをメールでお知らせする機能も提供されます。また、インターネットからも安否情報の確認が可能です。

各社の QR コードはこちら

	NTTドコモ <a href="http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi">http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi</a>
	au <a href="http://dengon.ezweb.ne.jp/">http://dengon.ezweb.ne.jp/</a>
	ソフトバンクワイモバイル <a href="http://dengon.softbank.ne.jp/">http://dengon.softbank.ne.jp/</a>
	楽天モバイル <a href="https://public-safety_mobile.rakuten.co.jp/?lang=ja">https://public-safety_mobile.rakuten.co.jp/?lang=ja</a>

詳しいサービス概要やご利用方法がNTTのホームページで詳しく載っています。その他携帯各社で提供されているサービスについては、各ホームページをご確認ください。



## 大学への安否連絡

### 落ち着いたら大学へ安否を知らせる

福岡県内において大地震 (震度5弱以上) が発生した場合、本学は学生の安否確認を行います。安否確認は、LiveCampusU の連絡通知により行いますので、ご自身の状況を報告してください。LiveCampusU の連絡通知が届かないときは、連絡可能になり次第、メール又ははがきにより安否連絡してください。

※電話、FAX 等での報告はお控えください。

### メール又ははがきによる報告先・報告事項

- 戸畑キャンパスの学生  
[koh-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp](mailto:koh-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp)  
(〒804-8550 北九州市戸畑区仙水町 1-1 工学部学生担当係)
- 飯塚キャンパスの学生  
[jho-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp](mailto:jho-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp)  
(〒820-8502 飯塚市川津 680-4 情報工学部学生担当係)
- 若松キャンパスの学生  
[sei-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp](mailto:sei-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp)  
(〒808-0196 北九州市若松区ひびきの 24 生命体工学部学生担当係)

### 報告事項

- ① 罹災 (安否報告)
- ② 氏名
- ③ 学生番号
- ④ 本人・家族の状況
- ⑤ 自宅や避難場所の状況
- ⑥ 避難している場合は避難先の住所・連絡先等
- ⑦ その他 (困っていることなど)

## 緊急時パーソナルメモ

氏名	学生番号
学部・学部・研究科等	類・学科・コース等
住所	
電話番号	緊急連絡先 続柄 ( )
生年月日	血液型 Rh ( )
持病	なし ( )
常用薬	あり ( ) なし
アレルギー	あり ( ) なし
自宅近くの避難場所	
家族との待ち合わせ場所 家族と共有しておきましょう	
※記入は油性のペンを使用して下さい。	

伝言内容は短く簡潔に! ①氏名 ②現在地 ③誰と一緒に ④安否 ⑤次の伝言予定時刻

# 地震発生 身を守る

今いる場所は  
本当に安全？

- YES**  
その場所を動かない
- NO**  
避難場所へ避難する

家族との  
安否確認  
※裏面参照

自宅に歩いて  
帰れる？

- YES**  
自宅へ
- NO**  
避難場所へ

大学への  
安否連絡  
※裏面参照



## 大学に いるとき

- 周囲の状況に注意し、身の安全の確保を最優先とする。
- 窓ガラスや棚から離れる。
- 机の下にもぐる、バッグなどで頭を覆うなどして、頭と手足を守る。
- 余裕があれば、ドアを開け出口を確保する。
- 実習中や課外活動中などで、周囲に危険なものがある場合は、すみやかにその場から離れる。
- 広場やグラウンドなど落下物がない場所にいる場合は、その場で座り込み揺れがおさまるのを待つ。
- 安全を確保して、揺れがおさまるのを待つ。

- 余震の可能性もあるため、あわてずしばらく様子を見る。
- 周囲のものが倒れたり、落下してくる恐れがない場合は、動かない方が安全。
- 危険と判断した場合は、安全な場所へ避難する。
- 避難場所は、広くて火災による延焼の恐れのない場所が適している。
- 大学ではあらかじめグラウンドを避難場所としているが、状況により安全な場所へ避難する。
- 避難時は、おかしも「おさない、かけない、しゃべらない、もどらぬい」を守り、教職員や非常放送の指示に従って落ち着いて避難する。
- 避難時はエレベーターを使用せず、階段で避難する。
- 火災が発生している場合は、煙を吸わないよう、タオルなどで口を覆う。
- 火災発生の場合は、自分の身が安全な範囲で、周囲の協力を得ながら初期消火を行う。消火が困難と判断した場合は、直ちにその場から離れる。
- 負傷者がいる場合は、自分の身が安全な範囲で、周囲の協力を得ながら応急手当を行い、教職員に連絡する。



## 通学中 外出時

- 周囲の状況に注意し、身の安全の確保を最優先とする。
- 塀、電柱、自動販売機などから離れ、落下物にも注意する。
- 電車・バス内では乗務員、駅では駅員の指示に従い、身の安全の確保をする。
- エレベーター内ではすべてのボタンを押し、停止した階の状況を見極めて避難する。
- 安全を確保して、揺れがおさまるのを待つ。

- 余震の可能性もあるため、あわてずしばらく様子を見る。
- 事前に家族と相談して決めた避難場所に移動する。ただし、被災場所やその場の状況によっては安全を最優先し、別の避難場所に移動する。
- 避難中は、警察・消防等の指示に従う。
- 車で避難すると渋滞をまねき、緊急車両の通行の妨げになるので、避難は徒歩で行う。
- 避難時はエレベーターを使用せず、階段で避難する。
- 火災が発生している場合は、煙を吸わないよう、タオルなどで口を覆う。



## 在宅時

- 周囲の状況に注意し、身の安全の確保を最優先とする。
- 転倒の恐れのある家具や落下物から身を守り、窓ガラスから離れる。
- 机の下にもぐるなどして、頭と手足を守る。
- 余裕があれば、ドアを開け出口を確保する。
- 安全を確保して、揺れがおさまるのを待つ。

- 余震の可能性もあるため、あわてずしばらく様子を見る。
- 事前に家族と相談して決めた避難場所に移動する。
- 家を出るときは、書き置きをし、ガスの元栓を締め、停電している場合はブレーカーを切ってから避難する。
- 避難中は、警察・消防等の指示に従う。
- 車で避難すると渋滞をまねき、緊急車両の通行の妨げになるので、避難は徒歩で行う。
- 避難時はエレベーターを使用せず、階段で避難する。
- 火災が発生している場合は、煙を吸わないよう、タオルなどで口を覆う。

## 帰宅する？避難場所に残る？

- 余震がおさまり落ち着いたら、大学等の指示を待ち、自宅に帰るか検討する。
- 公共交通機関が動いていない場合は徒歩で帰宅することになるが、その場合の上限目安は20km。
- 災害時の歩行速度は約2.5km/h。20kmは8時間を要することになる。
- 20kmよりも自宅が遠い人は、避難場所に留まる方が安全。
- 多くの人が一斉に帰宅すると各所で混雑が発生するため、余裕を持つことも大切。
- 日没後の行動は危険。夜間は犯罪に巻き込まれる可能性もあるため、単独行動は避けること。

(目安)

月日	日の出	日没
3月20日	06:22	18:30
6月20日	05:08	19:32
9月20日	06:05	18:18
12月20日	07:18	17:14

※悪天候の場合は1時間早く暗くなります。



## 災害時の情報収集方法

- インターネットやSNS上の情報に惑わされず、以下のサイトやラジオ・テレビで正確な情報を収集する。

### <防災情報>

- 国土交通省 : <http://www.mlit.go.jp/saigai/bosai/joho/>
- 福岡県 : <https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/>
- 北九州市 : <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/13801050.html>
- 飯塚市 : <https://www.city.iizuka.lg.jp/bosai/bosai/index.html>

## 事前にダウンロードしましょう！

福岡県防災アプリ「ふくおか防災ナビ・まもるくん」  
現在地および登録した県内市区町村の気象情報や避難情報が容易に入手できます。  
[https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/lp/app\\_mamorukun/](https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/lp/app_mamorukun/)

